

2020.10.2

2020 年度 日本歯磨工業会・歯磨公正取引協議会 合同委員会 開催

2020年10月2日、オンライン会議にて、日本歯磨工業会・歯磨公正取引協議会の2020年度合同委員会が開催され、会長の濱田和生、副会長の小林健二郎をはじめ、役員、委員、賛助会員、工業会員約70名が出席、日本歯磨工業会の業務委員会、広報委員会、技術委員会、薬事委員会、広告委員会、歯磨公正取引協議会の運営委員会の各委員長がそれぞれの上期の活動内容を発表、委員会活動の内容を共有しました。

今年は、新型コロナウイルス感染拡大の中、リモート会議などを中心とした活動が主となる中、日本歯磨工業会50周年に向けた準備、生活者向けオーラルケア啓発、歯科衛生士向け講演、フッ素や歯磨剤に関する行政、国際機関との調整・連携、広告表現適正化などに積極的に取り組みました。

また、日本口腔衛生学会、日本歯科医師会、厚労省などの要職、委員を歴任され、現在も歯科医師、大学講師、研究者としてご活躍の深井保健科学研究所 所長の深井穫博先生を講師にお迎えし、「新型コロナウイルス感染症は歯科口腔保健をどう変えるか」のテーマでご講演を頂きました。コロナ禍における世界の歯科医療現場の対応とニューノーマル時代の歯科医療のあり方、歯科疾患・生活習慣病・新型コロナウイルス感染症相互の関連性と口腔保健衛生の重要性について理解を深めました。

